

けいちゃん はんちゃん なあちゃん の

社会見学

の 学研都市

生駒市編

近頃、ぼくたちの暮らしに欠かせない『食』の大切さ、『農業』を始めること・続けることの難しさについて改めて感じるような出来事やニュースをよく耳にするようになったよね。生駒市でおこなわれている『農業』と『人』をつなぐ取り組みを見学したよ！

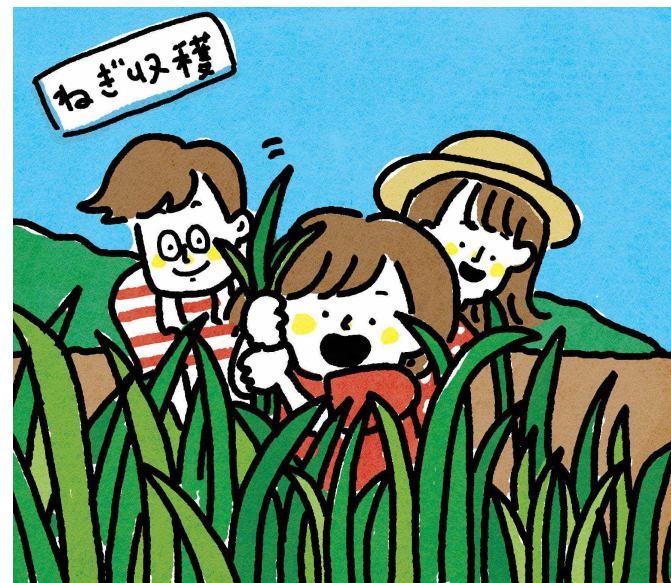
【自然や農業にふれて、新しい週末の楽しみ方を！】

「誰でも気軽に自然とふれあえるイベント」を積極的に開催している、一般社団法人『ひらく』の代表・町矢さん。『ひらく学校』という学びの場を運営されていて、デザインやアート、食や農業などのさまざまな体験を通し、参加した人が自分の進みたい道や世界に出会っていくという就労支援が行われているんだ。

その活動の中で町矢さんが主催しているイベントのひとつが、誰でも参加できる『竹林ツアー』。高山地区にある竹林を整備する体験から、自分たちで切った竹を使ってコップやお箸をつくるイベントだよ。ツアーには音楽家が同行して、竹林で生演奏を楽しむ時間もあるんだって！

さらに最近は、誰でも気軽に農業に関われる場づくりも積極的に行っているそうだよ。「自分で体を動かしての収穫体験やその場で野菜を食べるなど、日常から離れた体験を誰でも気軽に楽しむことで、農業との関わり方って色々あるんだなぁということを知ってもらいたいです」と、町矢さん。

「ご家族や友達と気軽に参加できる新しい週末の過ごし方として、竹林ツアーや農業体験などのイベントが新感覚のテーマパークみたいな存在になることを目指したいなぁ」と、色んな形での農業との関わり方についてお話しされていたよ。



【農家の担い手を未来へつなぐ】

そんな町矢さんと連携して、先日野菜の収穫体験の場づくりをおこなったという未来農業研究所の森田さん。農家をしながら、いこまファーマーズスクールでは講師もされているそうだよ。より多くの人に野菜作りの楽しさを知ってもらい、少しでも多くの人が農業に関わってってくれたらという思いで講義をされているんだ。まずはしっかりと野菜を作ることを目的として、そのために実習と座学の講義を行っているそうだよ。また、奈良県から委託されて職業訓練校で講義をされたときには、どうしたらお客さんに選ばれるかなどの販売に関することまでサポートをされていたんだって。

「いきなり農家を始めよう！というのはハードルがやっぱり高いですよね。少しでも興味があるという人に、ちょっとずつ関わってもらうことで、担い手不足に歯止めがかけられたらと思っています」とのこと。生駒市では色んな立場の人が連携して、農業と町の人をつなげていたよ。そうして『食』への関心を持つ人が増えることが、より豊かな食生活へとつながっていくのかもしれないね。

けいちゃん・はんちゃん・なあちゃんの3人が、けいはんな学研都市の8市町(精華町、木津川市、京田辺市、枚方市、交野市、四條畷市、奈良市、生駒市)を訪問します。

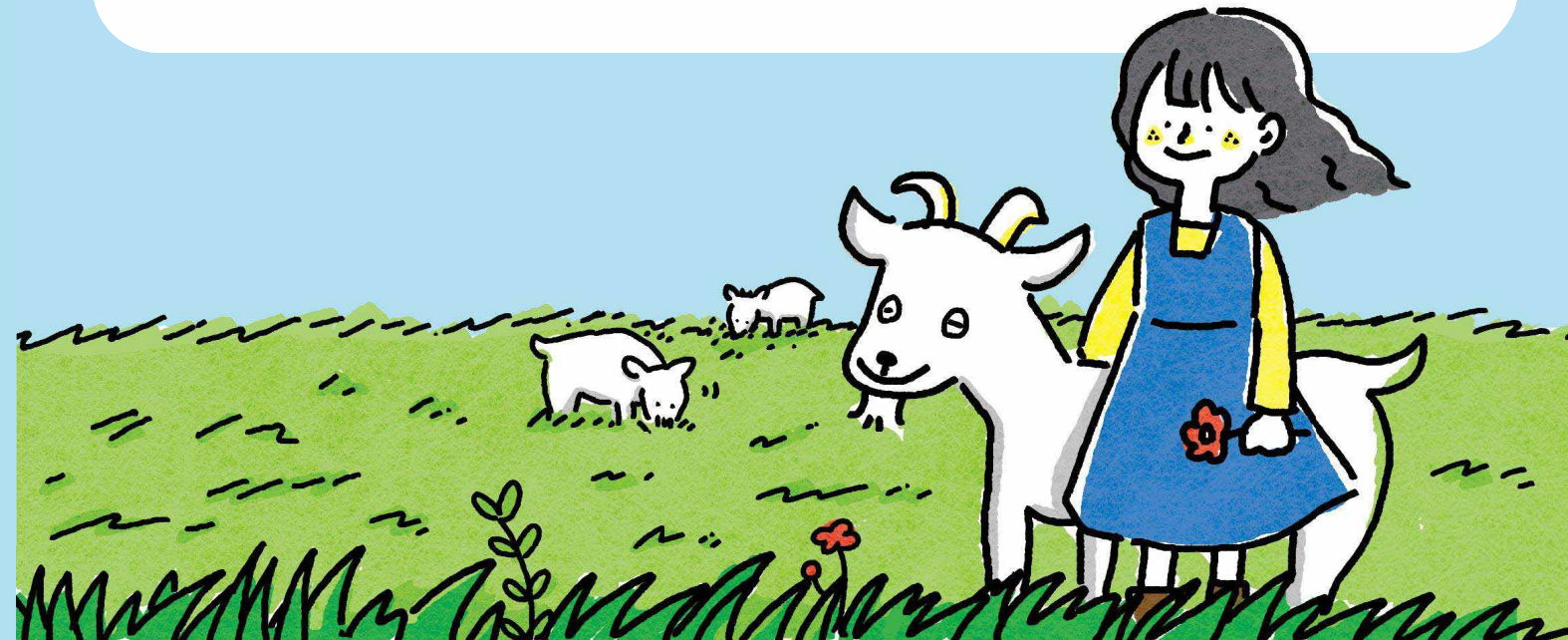
けいはんなView Vol.65では、生駒市を訪問しました。

【ヤギがつくるコミュニティ】

高山地区を歩いていたら、民家の合間にヤギたちが現れた！

「このヤギたちは循環型農業の中で大きな役割を担っているんですよ」とお話ししてくださったのは、飼い主でもあるTSUMUGIファームの榎さんご夫婦。地区の高齢化で荒れてしまっている農地を復活させたいという思いから始められたという循環型農業。なんと、ヤギ1頭につき2畳ほどの雑草を1時間でキレイに食べてくれるんだって！そうして農地に生えた雑草を食べたヤギのフンが、今度はそのまま畑の大切な肥料になるんだ。草刈機などを使わず、自然の力だけで農地がいい感じになっちゃう！ということだね。

「ヤギたちは他の自治体から依頼があれば派遣もしています。雑草を食べてもらうためにでもあるし、イベントでは小さな子供たちが自然とふれあえる場づくりも担っているんですよ」とのこと。地元の人のコミュニティづくりにも一役買っているというヤギたち。雑草をむしゃむしゃ食べて農業のお手伝いをするだけでなく、みんなの憩いの場づくりもできるなんてエライなぁ。がんばれ、ヤギさんたち！



INFORMATION

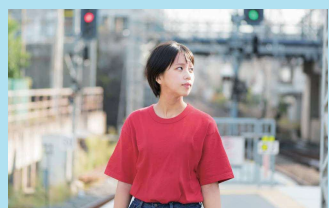
ひらく学校



未来農業研究所



TSUMUGIファーム



イラスト・記事制作
おおえ さき

イラストレーター、マンガ家、ラジオDJ。
京都市出身。
著書『ショート・ショート・キョート』発売中。
FMKYOTO『FLOWER HUMMING』
毎週日曜20時からOA中。
SNSにて作品更新中！
X / Instagram @ohyeah_saki